

河川砂防技術研究開発公募(河川技術分野)平成24年度採択テーマ 中間評価結果

【河川堤防の安全対策に関する技術研究開発】

テーマ名および概要		提案者名	評価	中間評価コメント
テーマ	河川堤防の複合外力に対する総合的安全性点検のための解析手法と対策工法に関する技術研究開発	愛媛大学 岡村 未対	a	堤防の破壊メカニズムを明らかにした上で、補強方法を提案するというオーソドックスな研究計画のもとで技術開発は順調に進められている。特に堤防の破壊メカニズムの解明に期待が持てる研究内容であり、当初予定の成果が達成されることを期待する。
概要	本研究では、外水、降雨、地震、津波およびそれらの複合作用時の実用的な河川堤防性能評価法の開発と対策工法の検討を行う。			
テーマ	地震・洪水およびその複合災害に対する統合型河川堤防評価技術の開発	名城大学 小高 猛司	b	個別のテーマについては順調に研究が進んでいるが、洪水と地震それぞれ、またはこれらが複合した災害に対するシナリオを明確にする必要がある。既往の研究成果を踏まえるとともに、研究項目が多岐にわたるため、まとめが散漫にならないように留意しながら、当初の研究目標が達成されることを期待する。
概要	粘土から礫地盤堤防の耐震性評価法ならびに堤体内構造物周りのゆるみ領域も考慮した洪水時安定性評価法を提案するとともに、信頼性解析を用いて実務への適用を試みる。			

河川砂防技術研究開発公募(水防災技術分野)平成24年度採択テーマ 中間評価結果

【都市等地域の浸水状況の予測等に関する技術研究開発】

テーマ名および概要		提案者名	評価	中間評価コメント
テーマ	沿岸低平地における河川、下水道、海岸のシームレスモデルに基づく実時間氾濫予測システムの構築	東京大学 佐藤 慎司	a	河川、下水道、海岸のシームレスモデルの構築に向けて研究は計画通り順調に進められている。また、予測の不確実性を考慮した降水アンサンブル予測を洪水予測に適用するなど、各分野で最先端の知見を取り込もうとしている点も評価できる。この実時間氾濫予測システムの利用の仕方を十分吟味しながら、有用なシームレスモデルが構築されることを期待する。
概要	鶴見川下流低平地における浸水・氾濫現象を対象として、河川、下水道、海岸の流体モデルをシームレスに統合し、情報提供まで見据えて高速かつ柔軟な予測システムを構築する。			
テーマ	都市域浸水予測・避難支援統合パッケージシステムの実用化に関する研究	(株)建設技術研究所 藤原 直樹	b	研究は計画通り着実に進められているが、実際の防災活動への活用方を明確にした上で、研究ターゲットを絞り込む必要がある。浸水予測や避難支援情報の配信内容及び方策についての情報受け手側のニーズを明確にしなが、各サブ課題の研究を統合することによって、当初予定の成果が達成されることを期待する。
概要	リアルタイム都市氾濫予測モデルを構築し、水防・避難活動の必要情報を伝達するパッケージシステム構築、実用化の研究を行う。			

評価の凡例

- a:非常に優れた研究であった。
- b:優れた研究であった。
- c:条件付きで評価できる(研究費の減額等)
- d:優れた研究ではなかった(研究の打ち切り)